



京都 YWCA

1 2016

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

YMCA・YWCA 合同祈禱週プログラム テーマ「希望あれ」

知っていますか？社会的養護の「18歳の壁」 「早く大人にならざるを得なかった子どもたち」を社会はどう支えるか

2015年度の京都 YMCA と京都 YWCA の合同祈禱週プログラムは、「知っていますか？社会的養護の18歳の壁」をテーマに、11月21日（土）、京都 YMCA で開催されました。

社会福祉法人大阪水上隣保館に長くお勤めになり、現在は大阪成蹊短期大学教授の阪野学さんから、「社会的養護」の子どもたちの現状を伺いました。社会的養護とは、家庭において適切な養育を受けることができない子どもを、社会が公的な責任の下で育てるしくみであり、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことも含まれます。

現在、児童養護施設等で暮らす「社会的養護の子どもたち」は、親はいるものの、虐待や家庭の貧困が大きな理由となり、親と離れて暮らしているケースが多いと言われます。そして、近年認知される児童虐待件数は増加の一途を辿っています。その背景には、子育ての不安・負担感や貧困などの要因が挙げられ、それらは重複して起こる可能性が高いということです。虐待は、子どもの成長に後遺症・トラウマを残し、さらには虐待を受けた子どもたちが大人になり、子どもを授かったとき自分が受けたように虐待をしてしまうという、虐待の連鎖さえも引き起こすことがあるのです。阪野さんは、厳しい環境で生きた子どもは回復に長期的な支援が必要であるにもかかわらず、社会的養護の制度は、そのような子どもたちに社会的な自立を急かす形となっているという問題点を指摘されました。



講演される阪野学さん

「カルーナ」の取り組み

京都 YWCA が 2015 年度に開設した自立援助ホーム「カルーナ」は、義務教育終了後から 20 歳までの児童養護施設などを退所した少女もしくは家を出て自立しなければならない少女たちが、安心できる居場所を得ながら、日常生活の支援を受けて社会的自立に向けた準備をする場所です。

阪野さんのお話の後、「カルーナ」ホーム長の山本知恵さんと、カルーナを利用しまもなく社会に旅立つ女性からのお話がありました。お二人の会話から、カルーナは早すぎるほど早く大人にならざるを得なかった子どもたちに回復の時間を提供し、それを大人が温かく見守ることに努めていることが十分に伝わってきました。話をされた女性の「施設にいたころは贈り物や支援を『してあげる』という一方的なものに感じることもあった」という発言が印象に残りました。

最後にグループワークで私たちにできる支援を話し合いました。手に職をつけられるよう学ぶための学資への支援、全国組織である YMCA、YWCA のネットワークを生かした遠方での支援、経営者の方は自らの会社での職場体験の場の提供など、それぞれの強みを生かした提案があり、心強く感じられました。これからも、社会的擁護の子どもたちの課題を丁寧に社会に発信し理解を得ることで、子どもたちが安心して成長できる社会をつくることこそが、私たちの責任であると感じました。

(伊原千晶)

—多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり— 「蕎麦を打とう、和食を食べよう、いっぱい話そう」 報告

10月31日に国際委員会とふれあいの居場所食堂「うららかふえ」事業運営委員会の共催で蕎麦打ちプログラムを実施しました。これは、「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」推進の催しとして企画したものです。



午後2時、20名の参加者が5つのグループに分かれ、「蕎麦打ち五段」の方の指導の下、やる気満々に始めました。“こねる、延ばす、切る”のどれも一見簡単に見えますが、実は奥が深いようです。若者もシニアも外国の方も小学生も、額に汗をかきながら真剣に、賑やかに作業を進めるうち、次第に師匠の手つきに似てきたようにも思えました。いささか太めの蕎麦になったグループもあったようですが、なかなかきれいに打ちあがりま

した。
午後4時からの交流会では参加者が40名近くになり、茹で上がった蕎麦や、会員が朝から用意したちらし寿司や天ぷらなどに舌鼓を打ちました。テーブルごとに話が弾むうちに、舞台ではまず蕎麦に関するお話や中国の麺事情の紹介が始まりました。次は京都YWCAの高齢者住宅「サラム」にお住まいの方のフルート演奏です。70歳から始められたというフルート演奏に合わせ参加者が歌った讃美歌は、胸に迫るものがありました。続くタイの衣装に身を包んだ、京都在住のタイの女性4人の舞踊は、日本にいることを忘れてしまうほど見事なものでした。最後のフィリピンの女性による歌は、在日フィリピン人による2015年度の歌唱コンテスト「UTAWIT」で関西地区優勝者となられたばかりのことはある納得の歌声でした。そして「上を向いて歩こう」を全員で歌い、名残を惜しみながら閉会としました。

このプログラムには、近隣の方、京都YWCAの留学生寮「あじさい寮」の方、自立援助ホーム「カルーナ」の方、高齢者住宅「サラム」の方、にほんご教室「洛楽」の受講生とご家族の方など、様々な方がご参加くださいました。多世代・多文化の方たちが互いに心を通わせる時間が持てたことを嬉しく思います。ご協力くださった方々に心よりお礼申し上げます。
(小寺敬子)

「絵本の世界」講座



11月28日(土)、齋藤壽始子さんを講師にお迎えして、「絵本の世界」講座(全5回)第1回目を開講しました。1998年より2007年まで、同様の講座を齋藤さん主宰の児童文化研究会と京都YWCAが協力して10期にわたり開催しました。当初は「子育て支援」という言葉が使われ始めた頃で、YWCAでも「こどもが楽しみ、親が育つひととき」を提供しようという声があがり、2001年に親子ライブラリーがスタートしました。

活動が15年目を迎えるにあたり、絵本を子どもたちに届けることの基本に立ち返るためにも、講座の再開が望まれました。子育ての孤立化や児童虐待、子どもの貧困などが社会問題化し子どもを取り巻く環境は厳しさを増しています。YWCAが自立援助ホーム「カルーナ」を開所し社会的養護の一端を担う今、絵本や児童文化を理解し伝えることで子育ての社会化に役立てるのではないかと希望があります。絵本のなかのさまざまな子どもたち、オトナたちをみつめ、ご一緒に「絵本の力」を子どもたちに届けませんか。(第3回1月30日、第4回2月27日、第5回3月26日)

(平野富希)

クリスマスバザールを開催しました！



12月5日(土)、恒例のクリスマスバザールを開催しました。お天気にも恵まれ、多くの方にご来場いただきました。受付にてお支払いいただいた入場料は、京都YWCAで行われる東日本大震災被災者支援活動に充てられます。ご協力ありがとうございました。

当日入場料収入(東日本大震災被災者支援活動に寄付)46,762円



第28回世界YWCA総会に参加してきました！

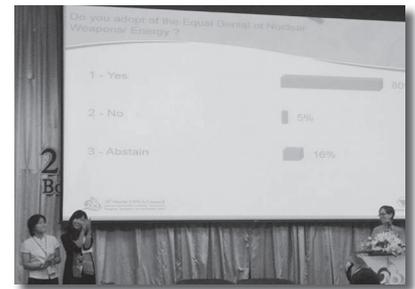
YWCAは世界120カ国で2500万人の若い女性と少女が活動する国際的な運動体です。4年に1度、世界各地からメンバーが集い、今後の活動方針を決定する「世界YWCA総会」(以下「総会」)が開催されます。今年10月11日から6日間、タイのバンコクにて第28回目となる総会が開催されました。約500人が集結したこの総会に、日本のYWCAから15名が参加しました。

総会前の2日間(10月9日、10日)は、30歳以下の若い女性が集まるプレ総会「若い女性フォーラム」が開催されました。今年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のゴールの一つである「ジェンダー平等」や、若いメンバーのネットワーク作りなどについて、熱い議論が繰り広げられました。

11日からの総会は、世界各地の参加者が伝統衣装などを着用して華やかに登場するオープニングから始まり、YWCAの20年後を見据えた長期目標、4カ年計画・予算などが話し合われました。また会議と並行して、今後4年間世界YWCAの運営に携わる運営委員の選挙が行われ、当選した委員の60%が30歳以下という結果となりました。

全体会議の間には、世界各地のYWCAがテーマを設定し

て情報共有や意見交換を行うワークショップも開催されました。日本YWCAは基地・軍隊と性暴力を切り口としたワークショップと、韓国YWCAと共同で「核」問題に関するワークショップを実施しました。後者はこの総会に先立って日本YWCAと韓国YWCAが共同で提出した決議案「原子力エネルギーを含むあらゆる『核』の否定」について、各地域の参加者に理解を深めてもらうためのものです。決議案とは今後の世界YWCAの重点課題を決める重要なもので、各YWCAを代表する代議員の採決によって可決されます。日韓のYWCAが提出した決議案は総会の最終日に賛成多数で可決され、世界の仲間と「核」のない世界を目指していくための新たな一歩を踏み出すことができました。世界で活躍する女性たちと出会い、交流を深め、エンパワーされた1週間でした。



日韓共同で提出した決議案が可決

(堀部 碧)

シリーズ ~京都YWCA多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり~

うららかふえ



ふれあいの居場所食堂うららかふえは2年目に入りました。「食が人としての存在の原点。安全・安心の食材を用いて心のこもったお昼ご飯を提供したい」「多世代・多文化の人々が集い、それぞれの得意技を持ち寄り、明日への力を育める場所でありたい…」、それが「うららかふえ」の目指すところです。

お客様は高齢の方々から若い子育て世代の方々まで。近くの会社から食べに来てくださる「団体さん」もおられ、お客様の数も安定してきて、「ファンができたかしら」と喜んでおります。ただ、どなたにも満足していただける食事づくりは、やはりそんなに簡単なものではないことを実感しています。日替わりメニューの内から「お好みの献立と味」を選んでいただけたらうれしいのですが、メニュー内容を分かりやすくする、アレルギーを持っておられるお客様向けに使用材料を明らかにしていく等々を、今後工夫していこうと話合っています。

サマリア館の趣きある部屋は、食事だけでなく様々な交流や学びの場としても使われています。今のところ、食堂は「絵本かふえ」(親子ライブラリー)や「写真展」(平和委員会ブクラ)、「英語カフェ」、少人数のミーティングなどに利用していただいています。

もちろん、お一人でコーヒーと手作りケーキを味わっていただく静かな空間を大事にする気持ちには、変わりありません。

先ごろ、カフェタイムをよりゆったりと過ごしていただくために、カフェの隣にあるフェアトレード商品を並べた「cozy shop 夏みかん」の部屋をカフェ空間としても利用できるようにしました。ランチタイム後の喫茶でのご利用もお待ちしています。ふれあいの居場所として、「心に笑顔のあふれる」うららかふえを共に育てていただけますよう、よろしくお願いたします。

今後のプログラム

◎京都 YWCAチャリティコンサート 魅惑のアルゼンチンタンゴ ～アストロリコ四重奏&ダンス～

- 日 時：2016年1月30日(土)
13:30開場 14:00開演
- 場 所：同志社大学寒梅館ハーディーホール
- 参加費：大人 前売 3,500円 (当日 4,000円)、
学生 3,000円、小学生 2,000円

◎2.11集会 「戦争国家」日本の行方

- 日 時：2016年2月7日(日) 13:30～16:00
- 場 所：京都 YWCA ホール
- 講 師：木戸衛一さん
(大阪大学大学院国際公共政策研究科教員)

- 参加費：500円 ・保育(要事前申込) 300円/人
- 申 込：要 ■ 主 催：京都 YWCA ほーぼのぼの会

◎「小さき声のカノン—選択する人々」 上映&鎌仲ひとみ監督講演

- 日 時：2016年2月21日(日) 14:00開場、
上映：14:30～16:30 講演：16:40～
- 場 所：京都 YWCA
- チケット：前売 1,200円 (当日 1,500円)
東日本大震災により京都に避難・移住されている方、
小中学生、障がい者 800円
- ※映画上映中、別室保育あり(要予約)：500円/人
- 定 員：100名 ■ 申 込：要
- 主 催：京都 YWCA 平和委員会

ご寄付ありがとうございました。2015年10月1日から11月30日
寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

仲本彩乃、森律子、
日本キリスト教団室町教会

各指定寄付

*多世代・多文化ふれあいコミュニティー
事業にむけた改修募金

坂口和子、宮武美知子、川合仁

*福島プロジェクト

菊池サリーナ

*生涯教育事業部

安田順子、伊藤千佳子

*親・子育て支援委員会

齋藤寿始子、
(親子ライブラリーへ)
親子ライブラリー有志

*APT

安藤いづみ、青木信雄、織田雪江、
京都ノートルダム教育修道女会

*国際委員会

宮武美知子、小寺敬子

*平和委員会

平和委員会有志、
(ブクラへ) 神原喜久恵、
円城順子、楊一珊、木戸さやか、
ブクラ有志、
(ほーぼのぼの会へ) 長谷邦彦

*ショップ委員会

山田バトリシア、カーフ・ロイス

*チャリティイベント企画委員会

宮武美知子、匿名1名

*ふれあい食堂「うららかふえ」運営委員会

宮武美知子、平野富希

*自立援助ホーム カルーナ

竹内二三、宮武美知子、平野富希、
神門佐千子、鏡清美、斎藤恵子、
松浦薫、大槻裕樹、林衛、山本知恵、
市緑堂参加者有志、
日本 YWCA 総幹事会

*賛助費

福嶋節子、山下真、上村剛士、
窪田左知己

京都 YWCA第94回定期会員集会

- 日 時：2016年3月12日(土) 12:30～16:30
- 場 所：京都 YWCA ホール

京都 YWCA ふれあいの居場所「うららかふえ」
お手伝いを募集しています!

カフェの営業時間は火曜日から土曜日の11:00～16:00です。
料理からレジ係まで色々なお仕事があります。
午後の喫茶タイムだけのお手伝いも歓迎。
詳細は YWCA 事務所までお尋ねください。

ALL THE TIME 



有田税理士事務所
aritax 検索
京都市上京区武者小路通烏丸西入梅屋町 468
電話 075-451-5178 FAX 075-431-7215
ホームページ http://www.aritax.jp

クリスマスバザール協力者一覧(敬称略)

株式会社 ユニティー、山田松香木店、(株) ティ・エム・エス、
(株) マイチケット、西京都共同購入会、飯室商店、(有) プロジェ N、
(株) 一粒社ヴォーリス建築事務所、(株) 田中工務店、安全農産供給センター、
伊那食品工業株式会社、オニザキコーポレーション、宮武美知子、有田孝子、
上村愈巳子、吉川文一、池上信子、高橋正子、森律子、筒井奈都子、清水義、
小西多美江、堀部和彦、山本順三

11・12月/理事会報告

- 会員・ボランティア活動推進委員会「会員になって活動しませんか」キャンペーンを3-4月に実施予定。
- 自立援助ホーム「カルーナ」1周年記念として「自立の壁」をテーマとする啓発プログラムを予定。
- 国交省補助事業「技術の検証」の2年間を総括する報告書作成に着手。これに関連し、「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」の総仕上げイベントを3月に実施予定
- アストロリコ・チャリティコンサートの販売協力依頼・広報を推進中。
- シリーズで「ワンコインセミナー」スタート(口腔ケア、経絡・お灸、着付け、ほか)。
- 定期会員集会(3月12日) 詳細および2016-2019年の活動の中長期計画を協議。

KYOTO YWCA No.530

2016年1月号(1月1日発行)
発行人 上村愈巳子
発行所 公益財団法人京都 YWCA
京都市上京区室町通水上ル
電話 (075) 431-0351 FAX (075) 431-0352
e-mail office@kyoto.ywca.or.jp
URL http://kyoto.ywca.or.jp
郵便振替 01080-9-1566
口座名義 (公財) 京都 YWCA
定 価 50円